

2015/9/3(木)移動例会、於:千代田 <黒岩会長挨拶>

皆さん、こんばんは！ この10日、間がありましたがお機嫌よくお過ごしでしたでしょうか？ロータリークラブというのは毎週定例会がありますが、次の例会までの間を如何に「楽しく・機嫌よく過ごす」ということもひとつの課題になっております。

さて8月の状況を申しますと、7月1日に40名で始まった御苑ロータリーでございますが、本日現在、名誉会員を含めまして55名となりました。増強月間で11名の仲間が増えたということで、皆様の御協力に対して感謝申し上げる次第でございます。

特に私共の地区の場合は「増強よりも職業奉仕を先に」というような声もあるのですが、やはり職業奉仕を成し遂げるには仲間が増えて行かないと実行力があがりません。少人数ではロータリークラブの機動力そのものが失われます。予算上の問題、そして地区の分担金等も支払わなければならない。こういういろいろなことを考えますと、理解する仲間が多いほうが、皆様のビジネスも多くまわってくるわけでございます。例えば税理士さんでいえば顧問の会社も少しずつ増えていくのではないかと思います。「魅力学会」の会員さんもふえていくということで、30名より50名、50名より70名、70名より100名のほうが、会員の中から「親友というものも生み出すこと・選択することもできる」わけです。数が少ないとイヤな人でも親しく付き合っていかなければならない、というデメリットもあるわけです。ですから私共のクラブは、今は50名を突破したところですので、少しはお仕事上のつきあいも増えてきたかと思えます。そして尊敬できるメンバーをなるべく多くのメンバーの中から選べるような会にしていった方がいいのではないかと思います。

そもそも会員メリットを考えて発足したのがロータリークラブなのであります。しかしメリットばかり考えてもいけないのです。クラブの財政とか資金面が落ち着いてくると、自分達のことだけではなく世のため人のため奉仕をやろうという流れになって参りました。ですから順序としては増強が先にきませんと成り立ってこないわけです。また増強を第一にしませんとロータリーの社会普及運動が中途半端に終わります。お互いの仕事も増えません。すべてのことが増強にかかっていると私は考えている次第でございます。

ロータリーにおける私の考えは、豊田さんは邸宅にお住まいですから敷地に大きな池があるのです。

たまたま夜店で買った金魚や鯉やなどが仲良く暮らしているのです。人間を金魚や鯉に例えてはいけないかもしれませんが、ロータリーというのは池のようなものなのです。

日頃、毎日会いたい人、1カ月に1回会いたい人、3ヶ月に1回会いたい人、其々がいます。仕事上のおつきあいであるとか、同窓会であるとかいろんな段階の知人・友人がそれぞれいらっしゃるわけです。しかし毎日会ってもしょうがない人もいらっしゃいます。しかしそういう方々を「ロータリーという池」に入れていただいて、みんなで「餌をやり水を換えて」育てて行けば、他人同士が頻繁にお付き合い出来る様なお友達に育っていくのです。稚魚(新会員)も生まれます。そうすればまた新しい友情・ビジネスが誕生します。数多くいれば「最初は嫌い」でも、やはり好きになるチャンスがふえて参ります。少ないよりは多い方が尊敬できる人も増えてくるわけです。このように増強運動は、すべての運動の基礎となり問題解決をして行きます。人間的にも資金的にもロータリーの奉仕の理想を向上させるうえでも有効な手段となり、問題解決を致します。

思えば御苑ロータリークラブは、去年12月頃は20人前後でしたが、今は50名を突破しました。皆様のご協力で年末までには70人位にして来年3月24日の「一周年記念例会」は、必ずや倍増の80名を達成し、皆様と美酒を交わしたいと思っております。そして皆さんのビジネスも、人格も、そしてよりよい親友、友達を得られるような機会が数多くあるクラブにしていきたいと思っております。

今日は、ここ向島名門料亭「千代田」の移動例会に韓国から3710地区の「キム(金成洙)パストガバナー」、「パク(朴庠根)ガバナーエレクト」と、ご家族の皆様が明日の日韓親善会議のためにいらっしゃっております。我々は一同歓迎して日韓両国の友情・友好の礎を築いてまいりたいと思っております。

高級料亭「千代田」さんの日本料理の数々や、伝統芸能であります、「お囃子や日本舞踊」、そしてこの地ナンバーワンの生ギターカラオケ伴奏等をご堪能いただければお思います。

どうもご静聴ありがとうございました。